埼玉県学校応援団推進事業実施要領に基づき、令和7年度の本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等を以下の通り公表します。

課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析
①学校運営上の課題	教職員の時間外勤務の是正	町内の小学校教員の1%、中学校教員の33%が、月45時間以上の時間外勤務を行っており、教員の業務負担軽減による時間外勤務の縮減が課題となっている。	・スクールガードリーダーや学校応援団が中心となり、毎日、登下校の見守りを行う。 ・学校応援団による環境整備（樹木の剪定、花壇整備、草刈り等）を実施する。	地域の人材活用が積極的に図られ、地域との協働が進むことで、教員の業務負担が軽減する。	月45時間以上の時間外勤務を行う教員の割合	10%以下	4.6%（R711月）	【成果】 〇スクールガードリーダーや学校応援団が中心となり、登下校の見守りを行うことで、朝の登校指導の時間が削減された。 〇樹木の剪定や花壇整備、草刈り等を学校応援団が実施したことで、環境整備にかける時間が削減され、教員の業務負担が軽減された。 【課題】 〇主に中学校の教員が月45時間以上の時間外勤務を行っていた。教員に対しての個別の支援体制が必要である。
①学校運営上の課題	社会に開かれた教育課程への対応	学校運営協議会の委員が、地域学校協働活動の一体的推進や社会に開かれた教育課程についての理解が十分でないことや他校との情報共有の場が少ないことが課題となっている。	・年に1回、学校運営協議会の委員を対象にした上里町コミュニティ・スクール研修会を開催する。その際、社会に開かれた教育課程に精通している講師を招聘したり、、学校運営協議会委員同士が協議をし、情報交換をしたりする場を設ける。	学校運営協議会委員が地域学校協働活動や社会に開かれた教育課程への理解を深めることができ、研修会を通して各委員の交流が図られ、各校で実施される学校運営協議会の活性化が図られる。	上里町コミュニティ・スクールの参加率	70%以上	59%（R7）	【成果】 〇上里町コミュニティ・スクール研修会では、県の生涯学習課の講師を招聘し、県内の情報を共有した。また、グループで話し合う研修を通して各校の取り組みを意見交換することができた。 【課題】 〇来年度もコミュニティ・スクール研修会を実施することで、今年度の協議内容を生かし、各校が実態に合った取組ができているかを把握し、更なる発展をさせてることが必要である。